

# 18歳意識調査 「第45回 -18歳成人・18歳の価値観-」要約版

---

日本財団 2022年3月24日

# 目次

調査概要	3
提示文章①	5
2022年4月からの成人年齢引き下げ認知	6
18歳で「成人」にふさわしい大人になったか	7
2022年4月以降の法律・ルール認知（正しい情報）	8
2022年4月以降の法律・ルール認知（間違っている情報）	9
2022年4月以降の法律・ルールについて	10
成人年齢引き下げへの賛否	11
提示文章②	12
裁判員制度 認知	13
裁判員制度について 認知	14
「裁判員」選任年齢が18歳に引き下げられることへの賛否	15
裁判員として刑事裁判に参加したいか	16
裁判員に選ばれた場合、不安に感じる事	17
裁判員の選任年齢の引き下げに関して 十分な情報が提供されているか	18
裁判員の選任年齢の引き下げに関して より情報を提供してほしいか	19
提示文章③	20
直近 1 週間以内の情報源	21
ジェンダー意識・結婚子育て意識	22
消費行動	24
仕事観	25
プライベート	27
コミュニケーション	28
親の学歴・職業	29

# 調査概要 「18歳意識調査」 -18歳成人・18歳の価値観-

**調査対象** 全国の17歳～19歳男女

**回答数** 1000

※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

**調査除外** 下記の関係者は調査から除外  
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/  
情報提供サービス・調査業/広告業

**実施期間** 2022年1月25日（火）～1月30日（日）

**調査手法** インターネット調査

※注記：調査協力者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも日本全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

# 要約

---

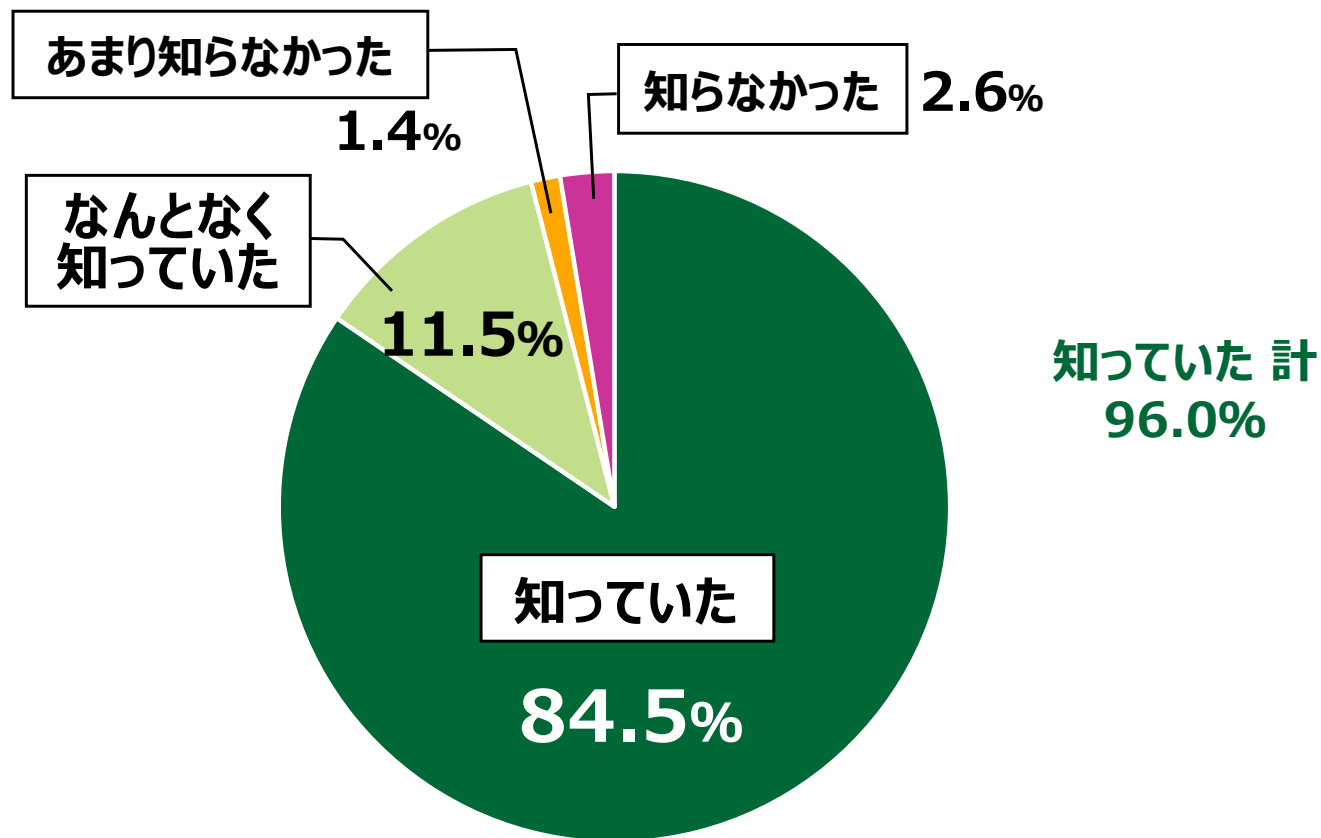
# 提示文章①

この調査では、最初に、日本における「成人年齢」について、あなたの認識や意見をお尋ねします。

# 2022年4月からの成人年齢引き下げ認知

成人年齢の引き下げについては、84.5%の人が「知っていた」と回答。「なんとなく知っていた」も含めると96.0%。

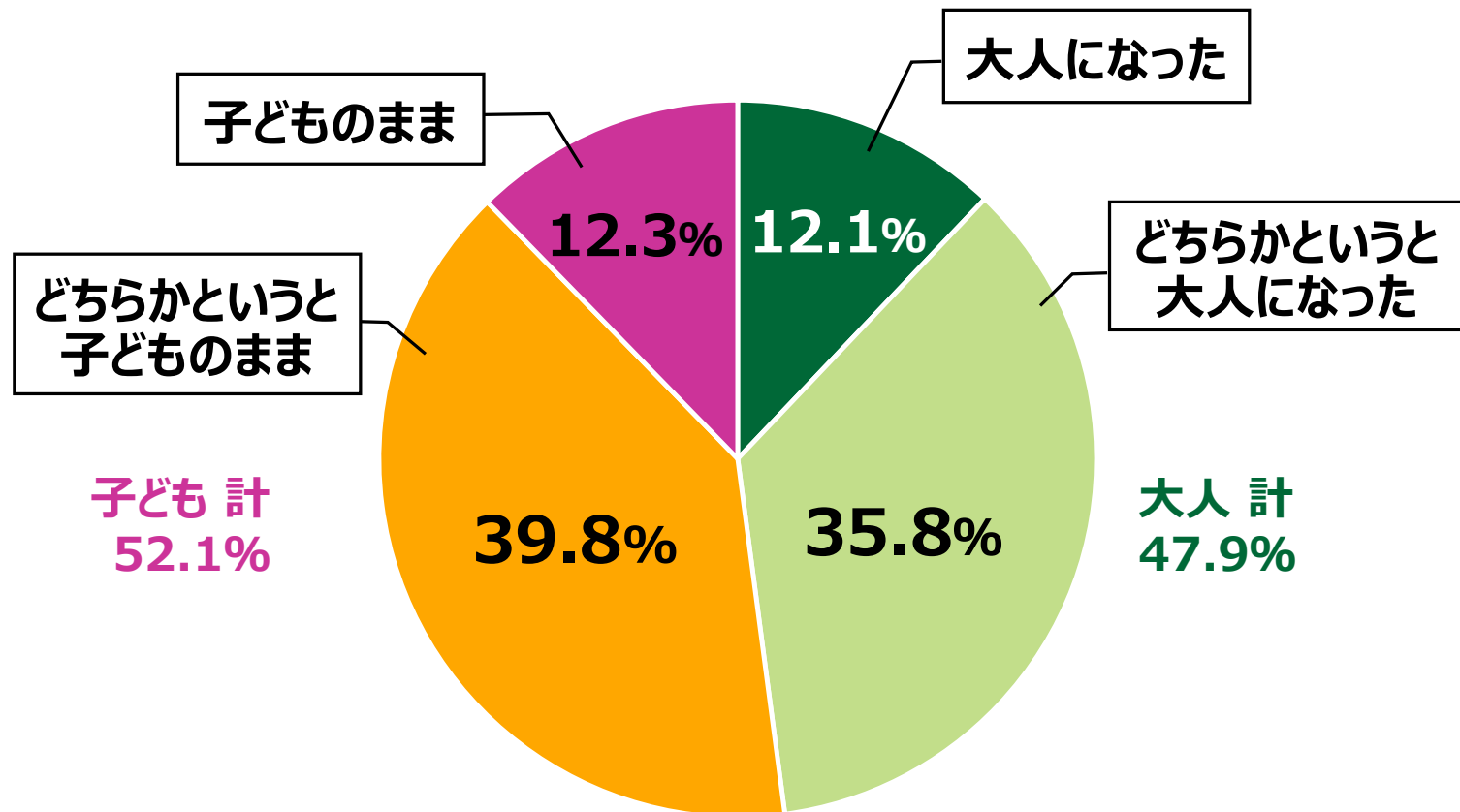
Q 民法の改正により、2022年4月から「成人」になる年齢が20歳から18歳に引き下げられます。あなたは、このことを知っていましたか。(n=1000)



# 18歳で「成人」にふさわしい大人になったか

自身が18歳の時点で「成人」にふさわしい大人になったと回答した人（大人計）は、47.9%。「子ども計」は52.1%。18歳の自分は「子ども」と回答した方が「大人」よりやや多い結果となった。

Q あなた自身は、18歳の時点で、「成人」にふさわしい大人になったと思いますか。  
19歳以上の方は18歳の時を思い出して、17歳以下の方は18歳になる時を想像して回答してください。（n=1000）



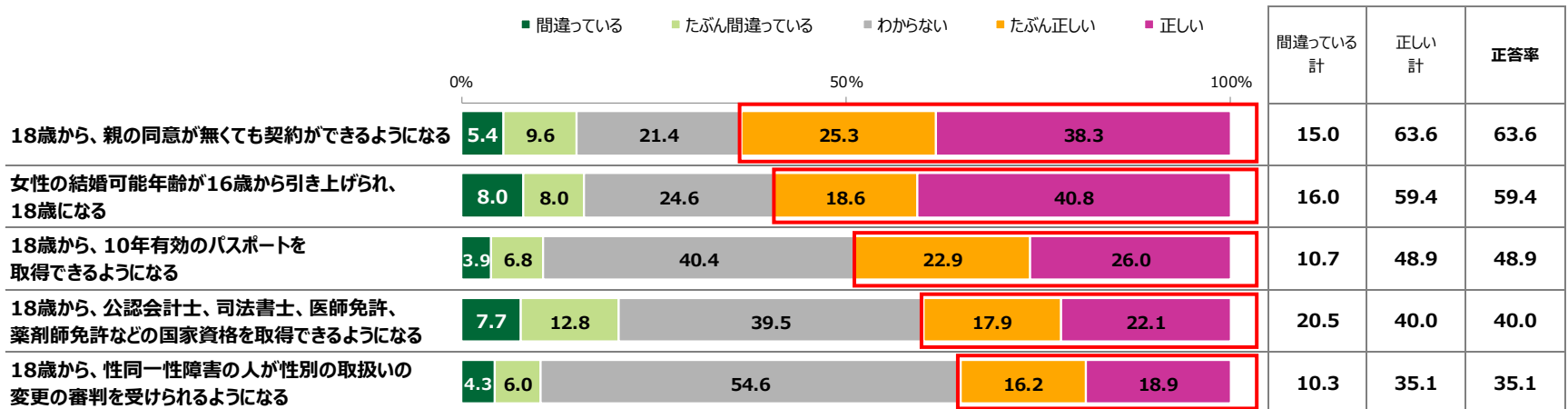
# 2022年4月以降の法律・ルール認知（正しい情報）

2022年4月以降の法律・ルールの中で正しい情報を呈示したところ、「18歳から、親の同意が無くても契約ができるようになる」の正答率が63.6%で最も高い。ほか、「女性の結婚可能年齢が16歳から引き上げられ、18歳になる」（正答率59.4%）も正答者が半数を超える。

次いで、「18歳から、10年有効のパスポートを取得できるようになる」（正答率48.9%）、「18歳から、公認会計士、司法書士、医師免許、薬剤師免許などの国家資格を取得できるようになる」（正答率40.0%）と続く。

「18歳から、性同一性障害の人が性別の取扱いの変更の審判を受けられるようになる」は正答率35.1%と最も低く、「わからない」が過半数を占める。

Q 2022年4月以降の法律・ルールとして、以下の各項目が正しいか、間違っているか選択してください。（各単一回答）  
（n=1000）



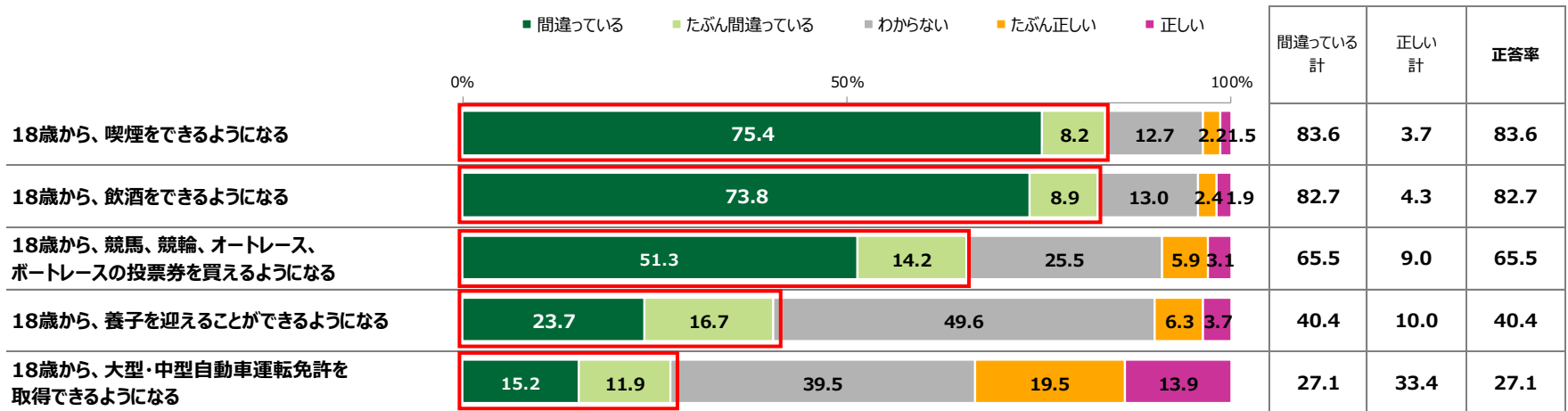
※「正答率」の比率の高い順に掲載（※各設問赤枠の比率）



# 2022年4月以降の法律・ルール認知（間違っている情報）

2022年4月以降の法律・ルールの中で間違っている情報を呈示したところ、「18歳から、喫煙をできるようになる」「18歳から、飲酒をできるようになる」は正答率がそれぞれ8割を超えた。また、「18歳から、競馬、競輪、オートレース、ボートレースの投票券を買えるようになる」は正答率65.5%で、半数以上が正解。ほか、「18歳から、養子を迎えることができるようになる」は正答率40.4%、「18歳から、大型・中型自動車運転免許を取得できるようになる」は27.1%。

Q 2022年4月以降の法律・ルールとして、以下の各項目が正しいか、間違っているか選択してください。（各単一回答）  
(n=1000)



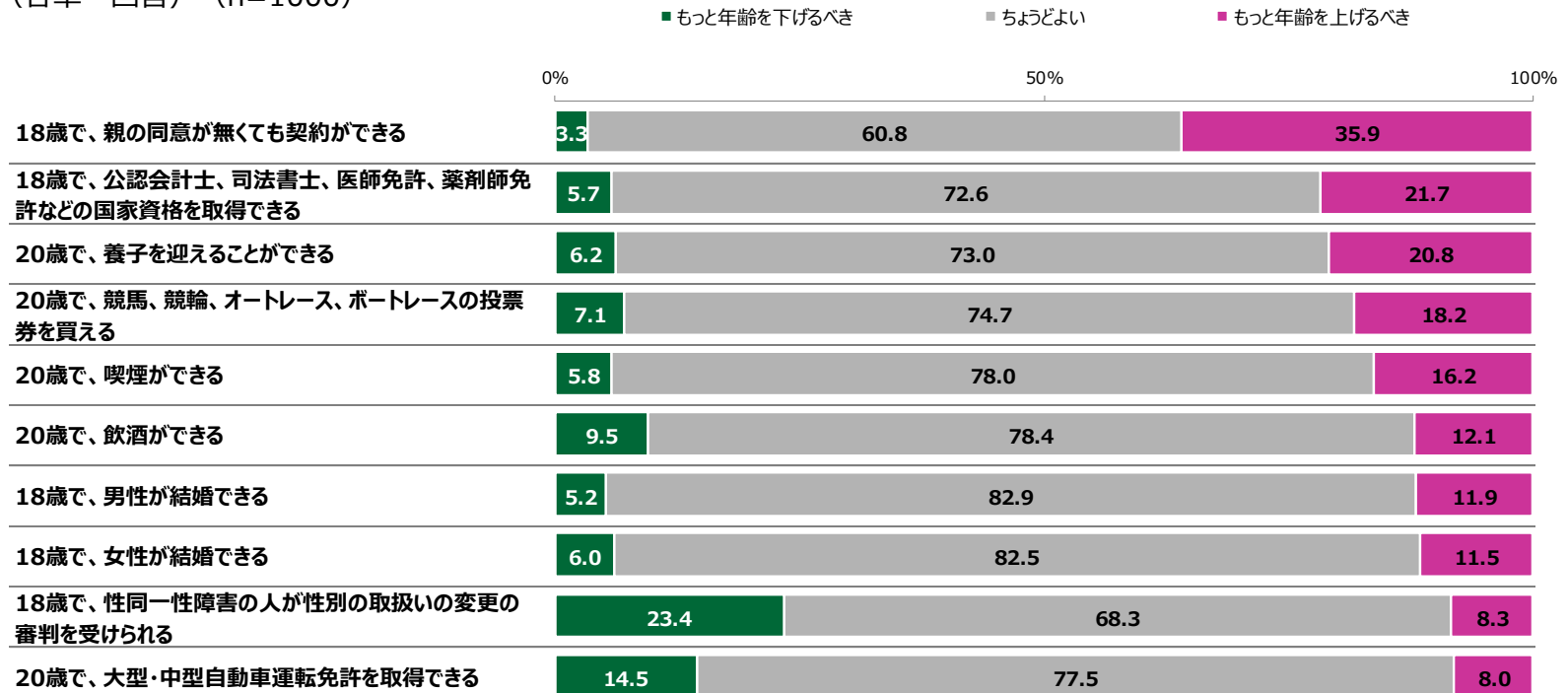
※「正答率」の比率の高い順に掲載（※各設問赤枠の比率）

# 2022年4月以降の法律・ルールについて

全ての内容について「ちょうどよい」が過半数を占める。

「18歳で、親の同意が無くても契約ができる」「18歳で、公認会計士、司法書士、医師免許、薬剤師免許などの国家資格を取得できる」「20歳で、養子を迎えることができる」は「もっと年齢を上げるべき」が2割以上と多い。  
また、「18歳で、性同一性障害の人が性別の取扱いの変更の審判を受けられる」は「もっと年齢を下げるべき」が23.4%と多い。

Q 以下の各項目は、成人年齢引き下げにより実際に2022年4月以降に適用される法律・ルールです。  
それぞれについて、適切と感じるか、もっと年齢を引き下げる／引き上げるべきと感じるか回答してください。  
(各単一回答) (n=1000)

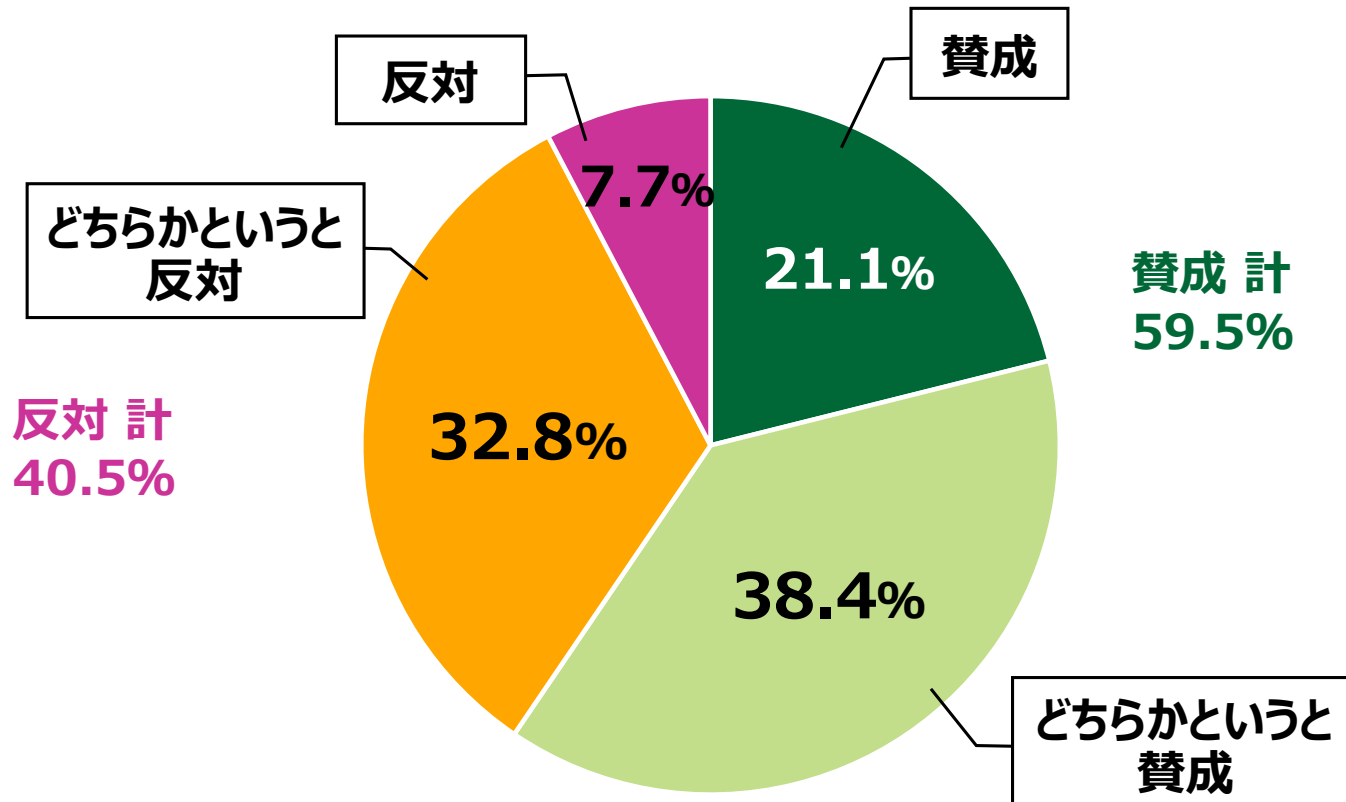


※ 「もっと年齢を上げるべき」の比率の高い順に掲載

# 成人年齢引き下げへの賛否

成人年齢の引き下げについて「賛成計」が59.5%と、「反対計」（40.5%）を上回る。

Q 2022年4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられることについて、賛成ですか、反対ですか。  
(n=1000)



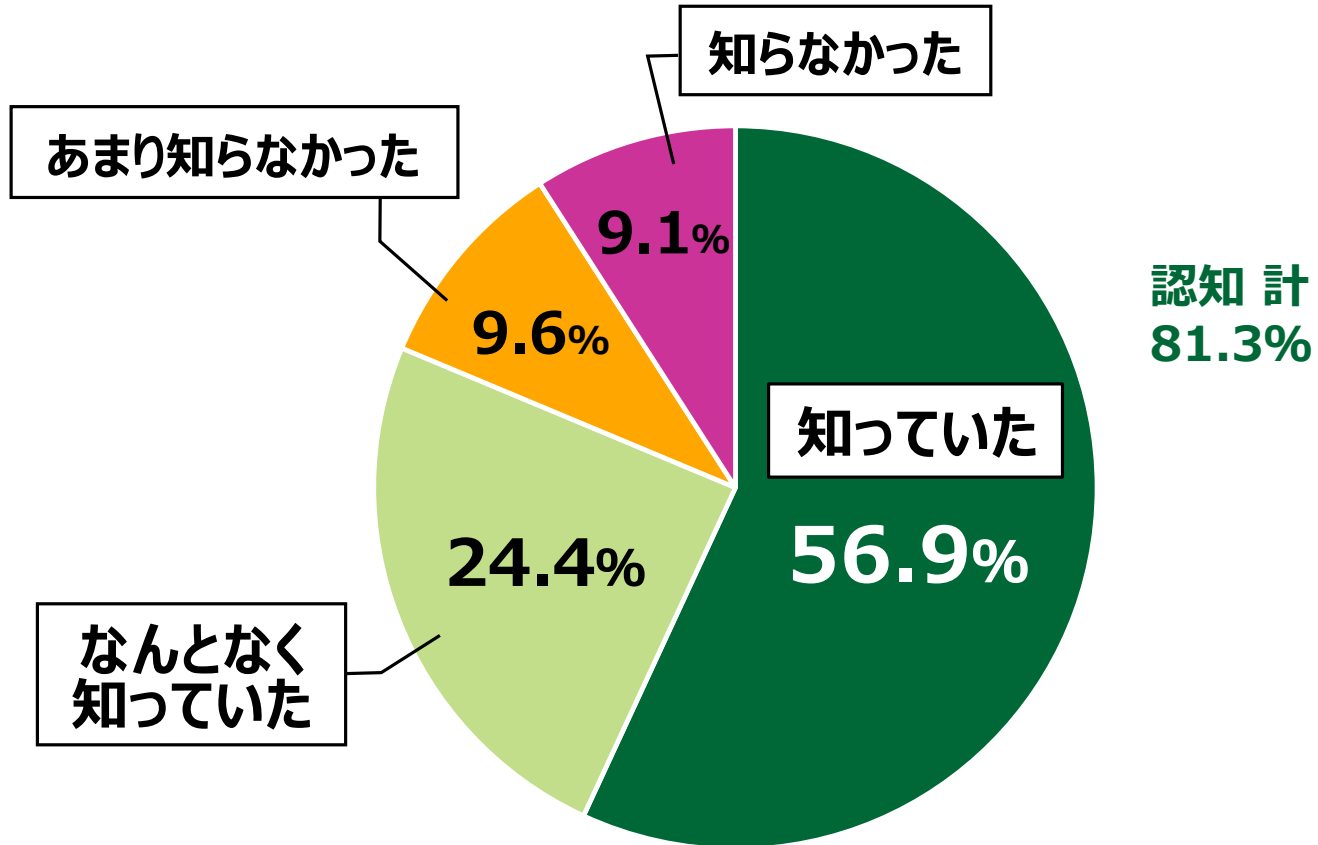
## 提示文章②

以下の質問では、日本における「裁判員制度」について、あなたの認識や意見をお尋ねします。

# 裁判員制度 認知

裁判員制度について56.9%の人が「知っていた」と回答。「なんとなく知っていた」も含めると認知率は81.3%。

Q 「裁判員制度」は、国民から選ばれた裁判員が刑事事件の裁判に加わり有罪・無罪の判断や刑の内容（重さ）を裁判官と一緒に決める制度です。あなたは「裁判員制度」を知っていましたか。（n=1000）

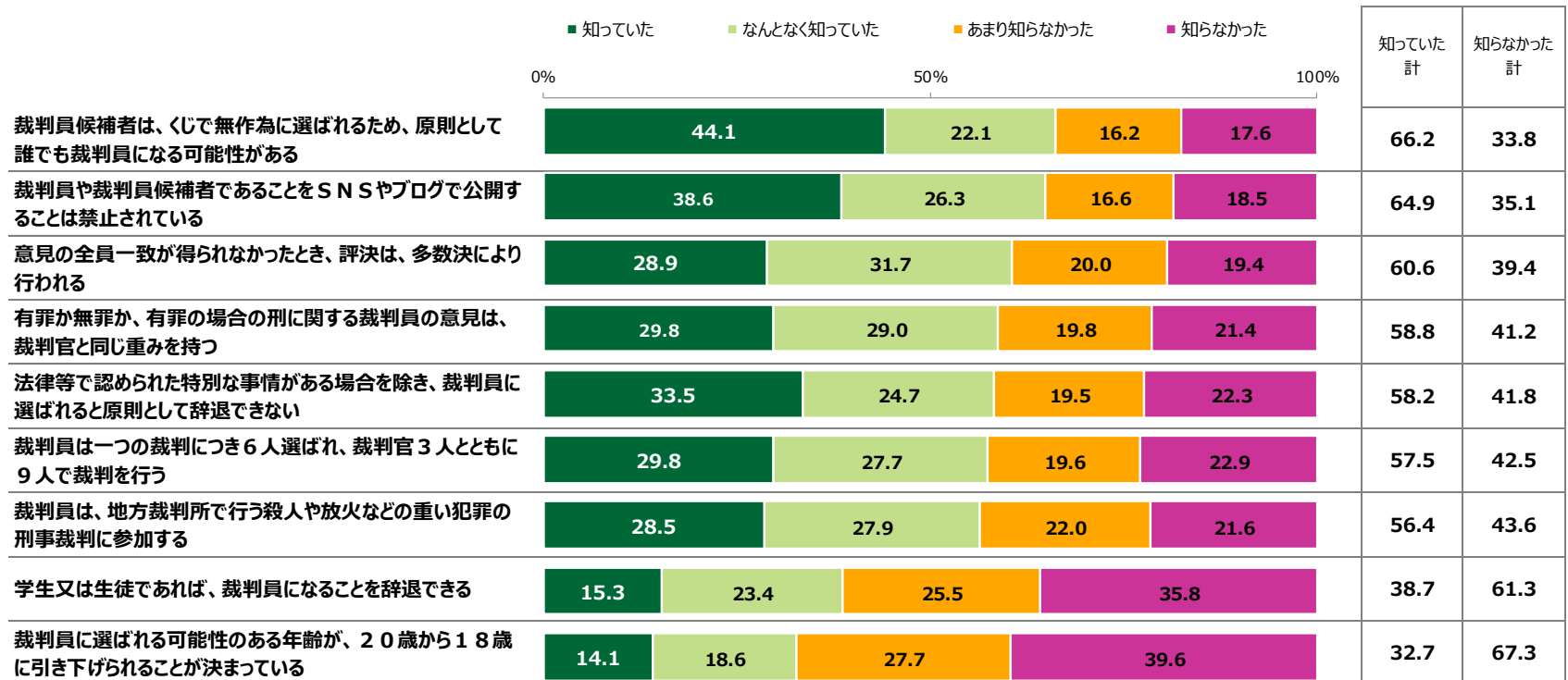


# 裁判員制度について 認知

裁判員制度について、「裁判員候補者は、くじで無作為に選ばれるため、原則として誰でも裁判員になる可能性がある」（知っていた計 66.2%）、「裁判員や裁判員候補者であることをSNSやブログで公開することは禁止されている」（知っていた計 64.9%）、「意見の全員一致が得られなかったとき、評決は、多数決により行われる」（知っていた計 60.6%）は認知率が高く、それぞれ6割以上。

また、「裁判員に選ばれる可能性のある年齢が、20歳から18歳に引き下げられることが決まっている」は最も認知率が低く、32.7%。

Q 以下の各項目は、裁判員制度に関する説明です。それぞれ、知っていたかどうかを選択してください。（n=1000）



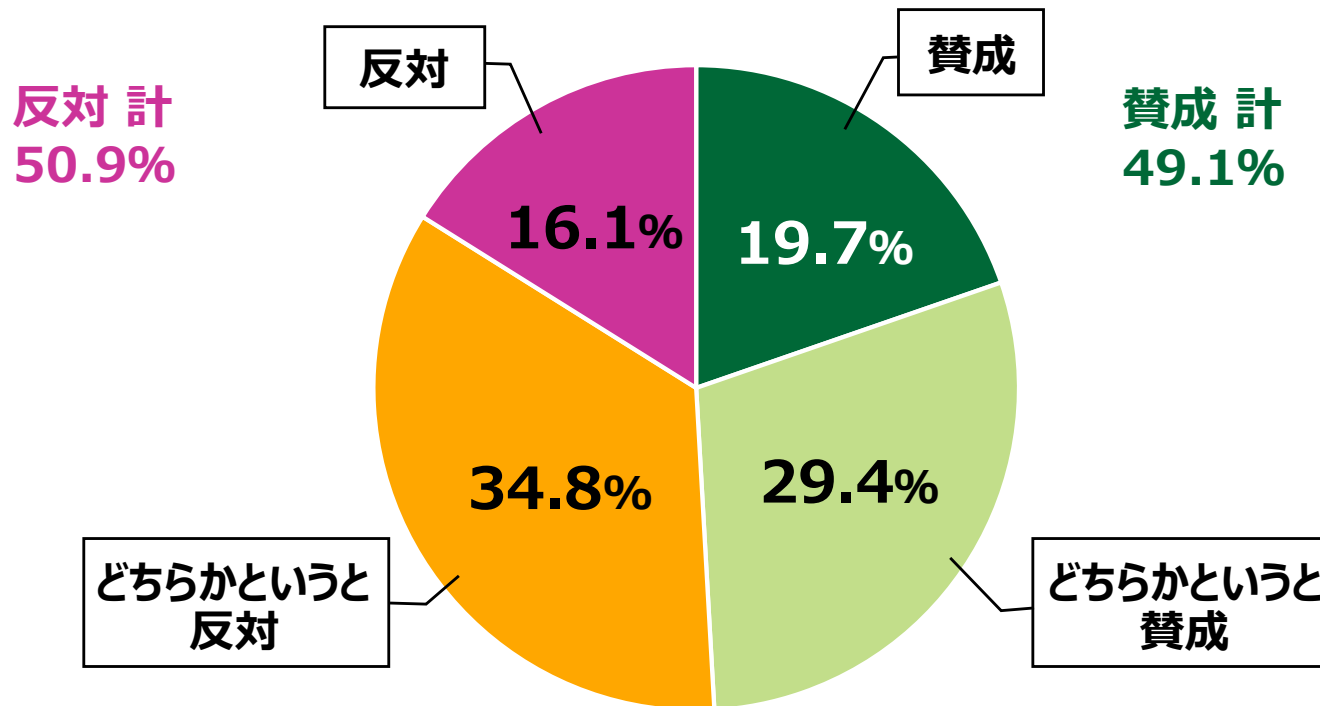
※ 「知っていた計」（「知っていた」 + 「なんとなく知っていた」）の比率の高い順に掲載

# 「裁判員」選任年齢が18歳に引き下げられることへの賛否

選任年齢が20歳から18歳に引き下げられることについて、「賛成計」が49.1%、「反対計」が50.9%で意見が拮抗している。

Q 2023年1月以降、18歳、19歳の人も裁判員に選ばれる可能性があります。選任年齢が20歳から18歳に引き下げられることについて、賛成ですか、反対ですか。(n=1000)

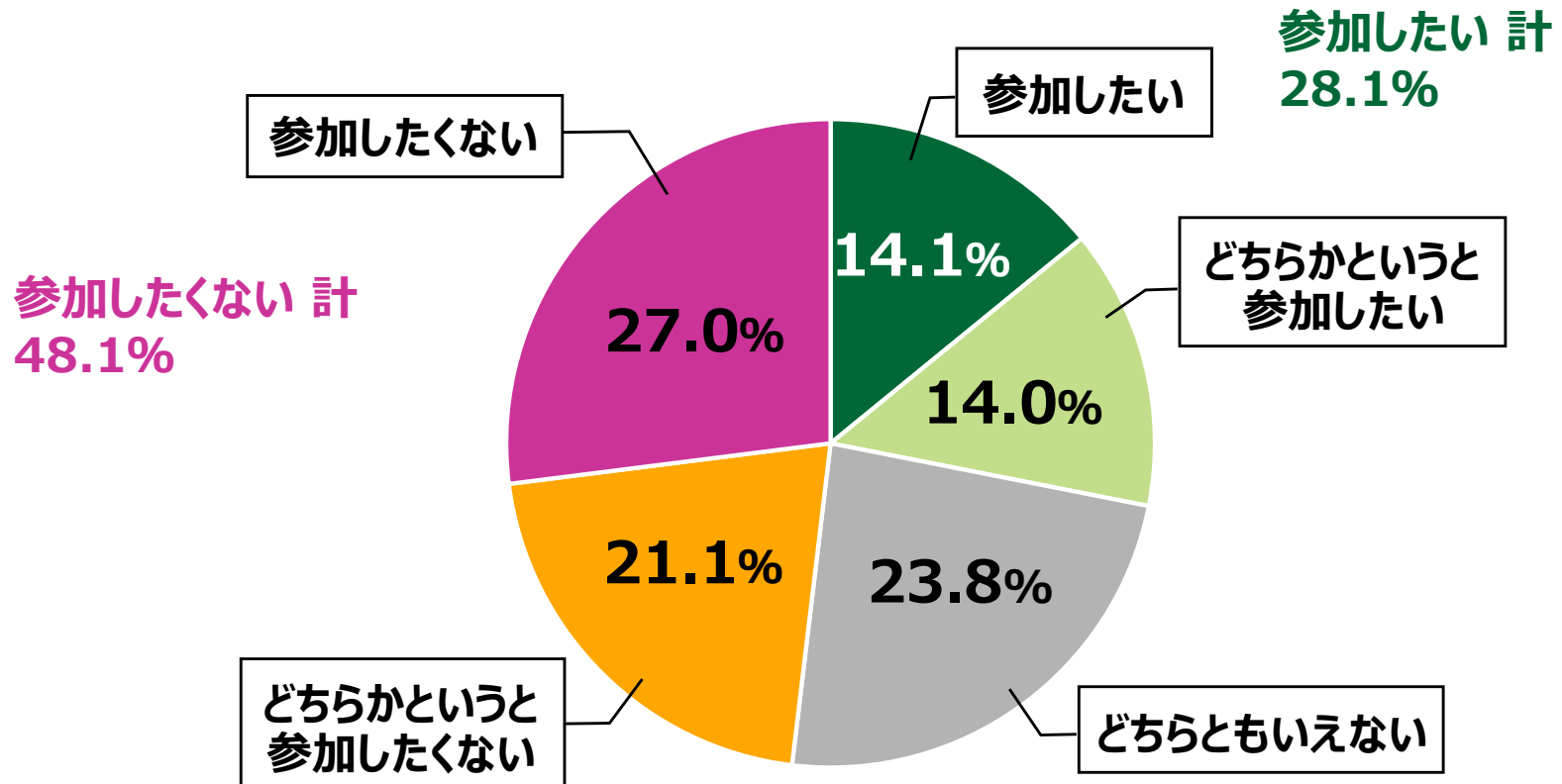
※注:2022年4月の改正少年法施行に伴い、裁判員になることのできる年齢が18歳に引き下げられる。裁判員候補者名簿に記載されるのは2023年分からとなるため、実際に18歳、19歳の人を選ばれる可能性があるのは2023年1月1日以降となる。



# 裁判員として刑事裁判に参加したいか

裁判員として刑事裁判への参加意向は「参加したくない計」が48.1%で「参加したい計」（28.1%）を上回る。

Q あなた自身は、裁判員として刑事裁判に参加したいと感じますか。（n=1000）





# 裁判員に選ばれた場合、不安に感じること

最も不安に感じることは「間違っただ判断をしてしまうこと」(31.2%)。次いで、「重い刑罰を言い渡すこと責任」(27.0%)、「自分の年齢が若く、十分な人生経験がないこと」(20.8%)が上位に挙がる。

Q あなたが裁判員に選ばれたとして、不安に感じることは何ですか。当てはまるものを3つまで選択してください。  
(複数回答3つまで) (n=1000)

※注:被告人とは、ある犯罪を犯したとして裁判を受けている人のこと

## 裁判員に選ばれた場合、不安に感じること

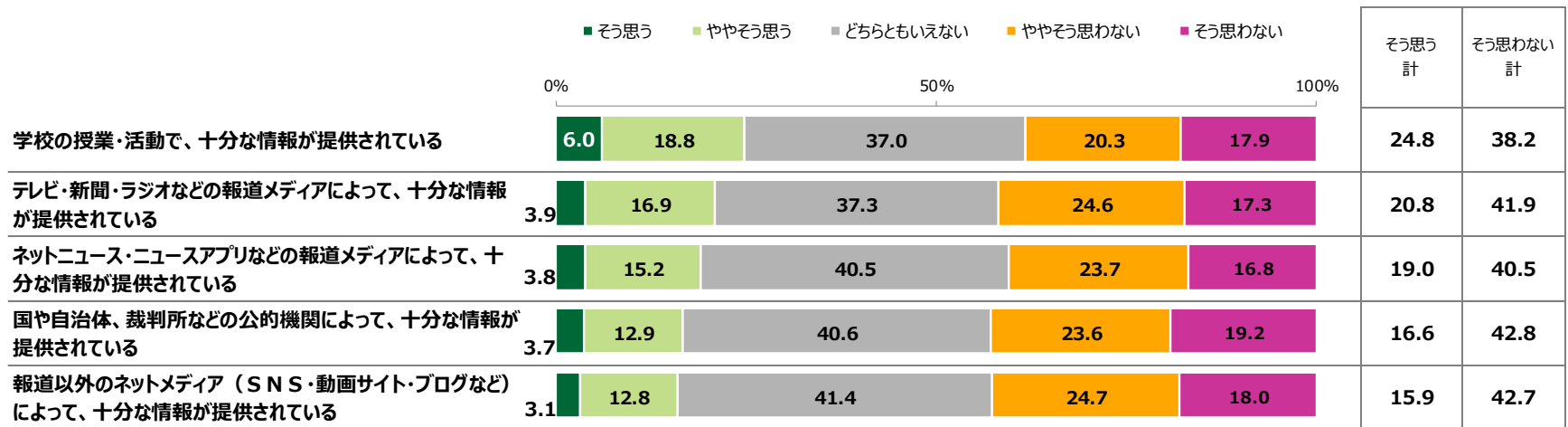
(n=1000)

1位	間違っただ判断をしてしまうこと	31.2%
2位	重い刑罰を言い渡すこと責任	27.0%
3位	自分の年齢が若く、十分な人生経験がないこと	20.8%
4位	殺人など重大な犯罪の内容を聞くことによる精神的なショック	17.2%
5位	裁判で出てくる法律や制度を理解できるかどうか	16.1%
6位	被告人やその関係者から恨まれる可能性	15.0%
7位	裁判員制度に関する情報や知識が少ないこと	14.4%
8位	被告人やその関係者から将来攻撃される危険性	13.7%
9位	辞退をしたくても認められない可能性	11.5%
10位	事件の内容や背景を理解できるかどうか	10.6%

# 裁判員の選任年齢の引き下げに関して 十分な情報が提供されているか

裁判員の選任年齢の引き下げに関する情報について、十分な情報は提供されている（＝「そう思う計」）と回答している人は少なく、どの周知方法についても1割台～2割台。最も高いものは「学校の授業・活動で十分な情報が提供されている」で、「そう思う計」が24.8%。

Q 裁判員の選任年齢の20歳から18歳への引き下げに関する情報提供や周知方法について伺います。  
以下の各項目について、どの程度同意しますか。（各単一回答）（n=1000）

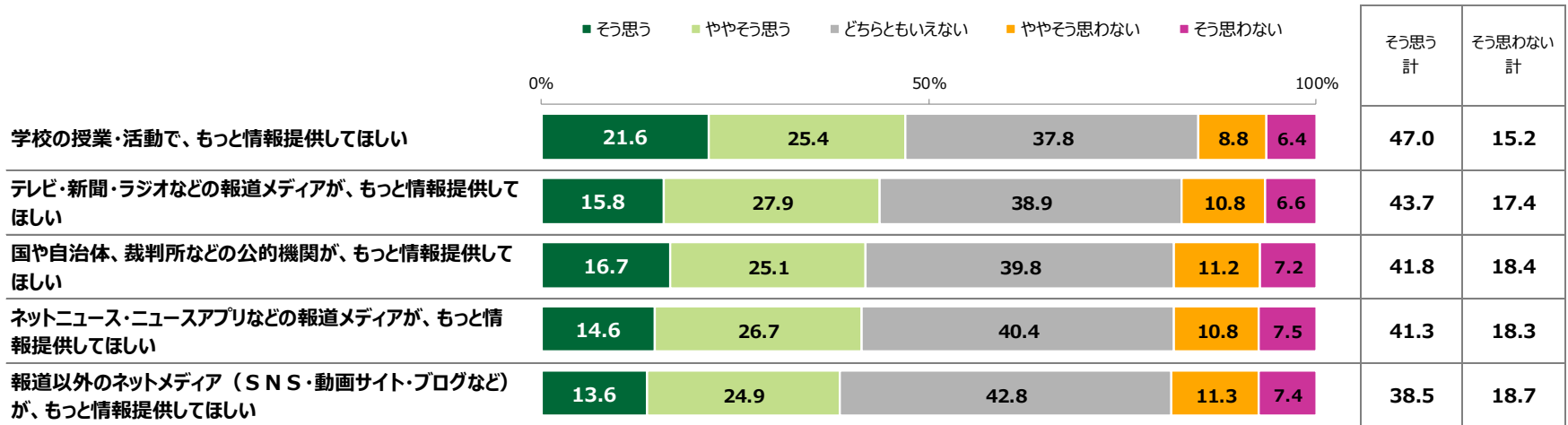


※「そう思う計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の比率の高い順に掲載

# 裁判員の選任年齢の引き下げに関して より情報を提供してほしいか

裁判員の選任年齢の引き下げに関する情報について、もっと情報提供してほしい（＝「そう思う 計」）と回答している割合は、前頁の「十分な情報が提供されている」に比べると高い。最も高いものは「学校の授業・活動で、もっと情報提供してほしい」で、「そう思う 計」が47.0%。次いで、「テレビ・新聞・ラジオなどの報道メディアが、もっと情報提供してほしい」（43.7%）、「国や自治体、裁判所などの公的機関が、もっと情報提供してほしい」（41.8%）と続く。

Q 裁判員の選任年齢の20歳から18歳への引き下げに関する情報提供や周知方法について伺います。  
以下の各項目について、どの程度同意しますか。（各単一回答）（n=1000）



※「そう思う 計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の比率の高い順に掲載

## 提示文章③

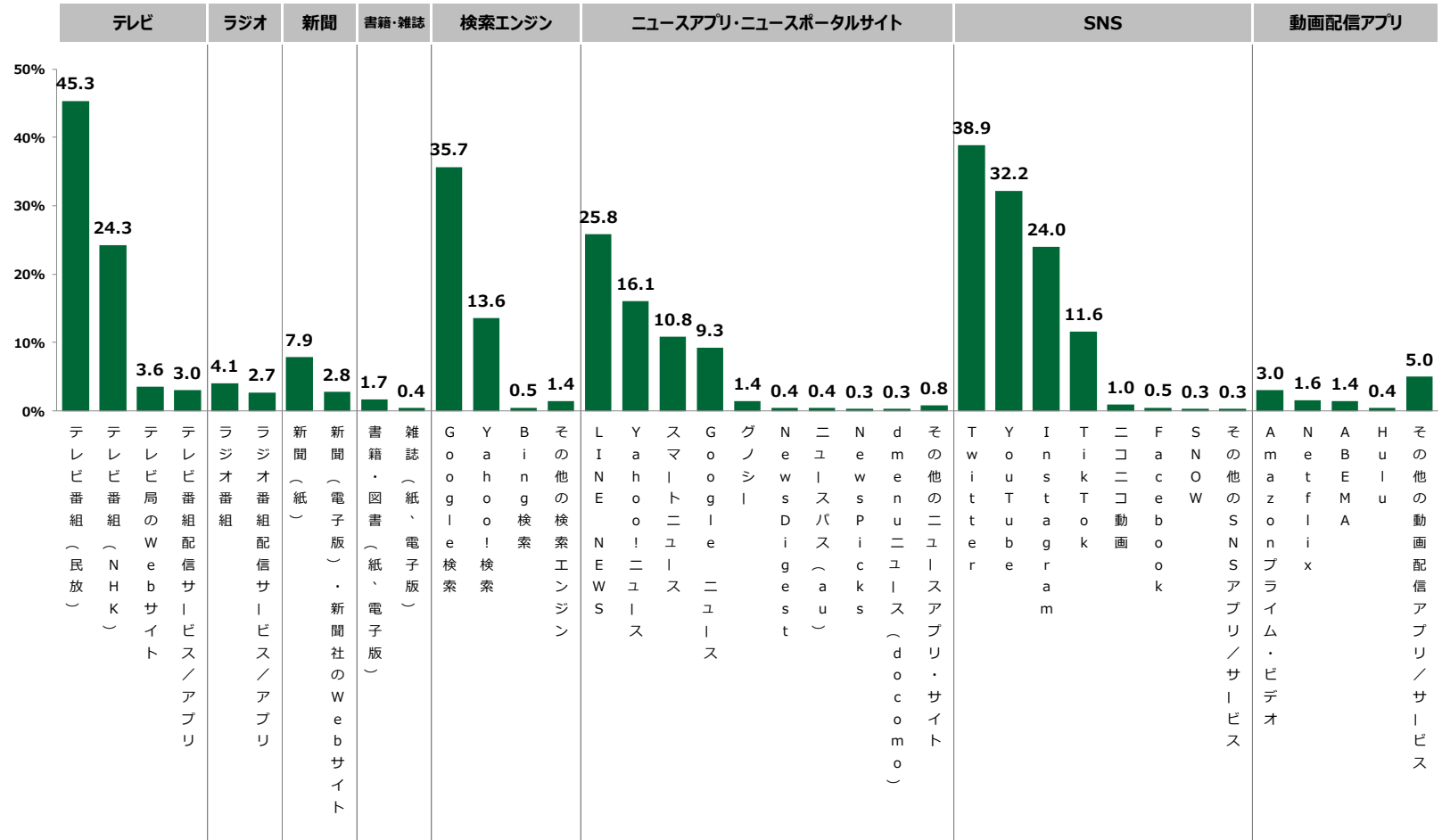
---

以下の質問では、あなたの価値観や日常生活のことについて伺います。

# 直近1週間以内の情報源

1週間以内の情報源は、「テレビ番組（民法）」（45.3%）、「Twitter」（38.9%）、「Google検索」（35.7%）、「YouTube」（32.2%）、「LINE NEWS」（25.8%）と続く。

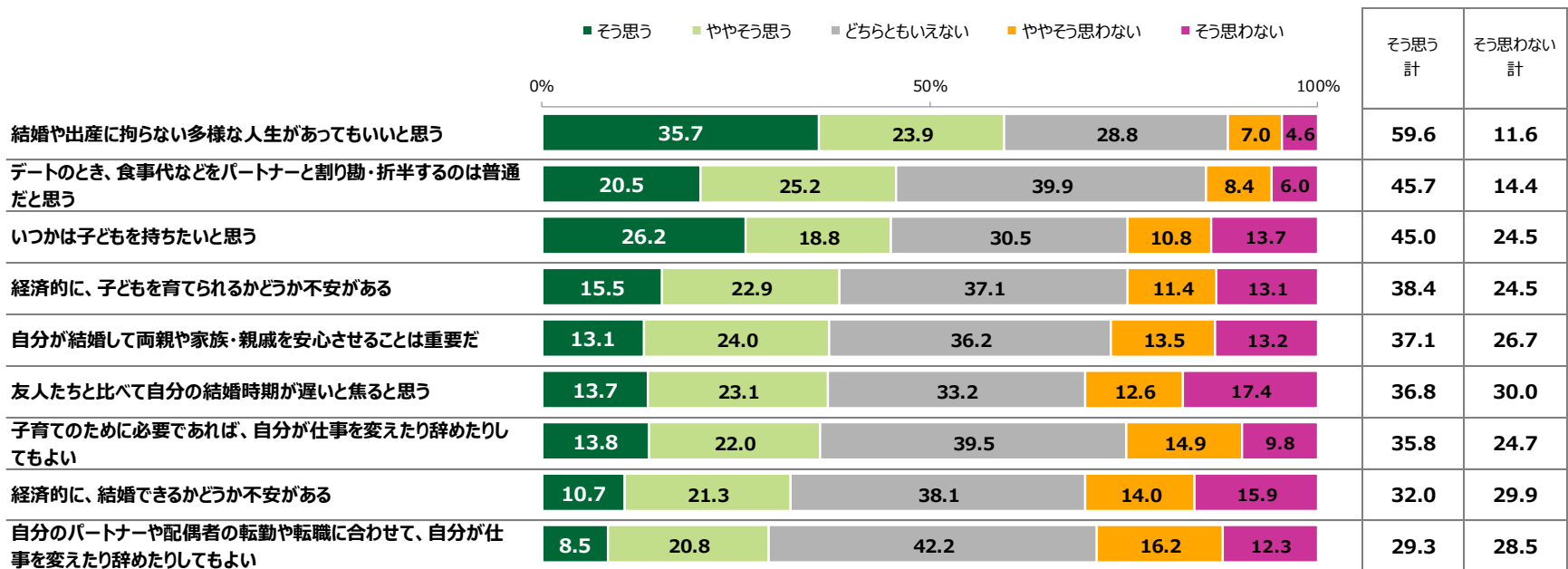
Q 最近1週間を振り返って、あなたが取得した情報の量（ニュース、話題、知識など）が最も多かったと感じるメディアを、多い順に5つまで選択してください。（複数回答5つまで）（n=1000）



# ジェンダー意識・結婚子育て意識 1/2

ジェンダー意識・結婚子育て意識について同意の割合が最も多いものは「結婚や出産に拘らない多様な人生があってもいいと思う」(59.6%)。次いで、「デートのとき、食事代などをパートナーと割り勘・折半するのは普通だと思う」(45.7%)、「いつかは子どもを持ちたいと思う」(45.0%)、「経済的に、子どもを育てられるかどうか不安がある」(38.4%)、「自分が結婚して両親や家族・親戚を安心させることは重要だ」(37.1%)と続く。

Q 以下の各項目について、あなた自身はどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせずに、率直に回答してください。(各単一回答) (n=1000)



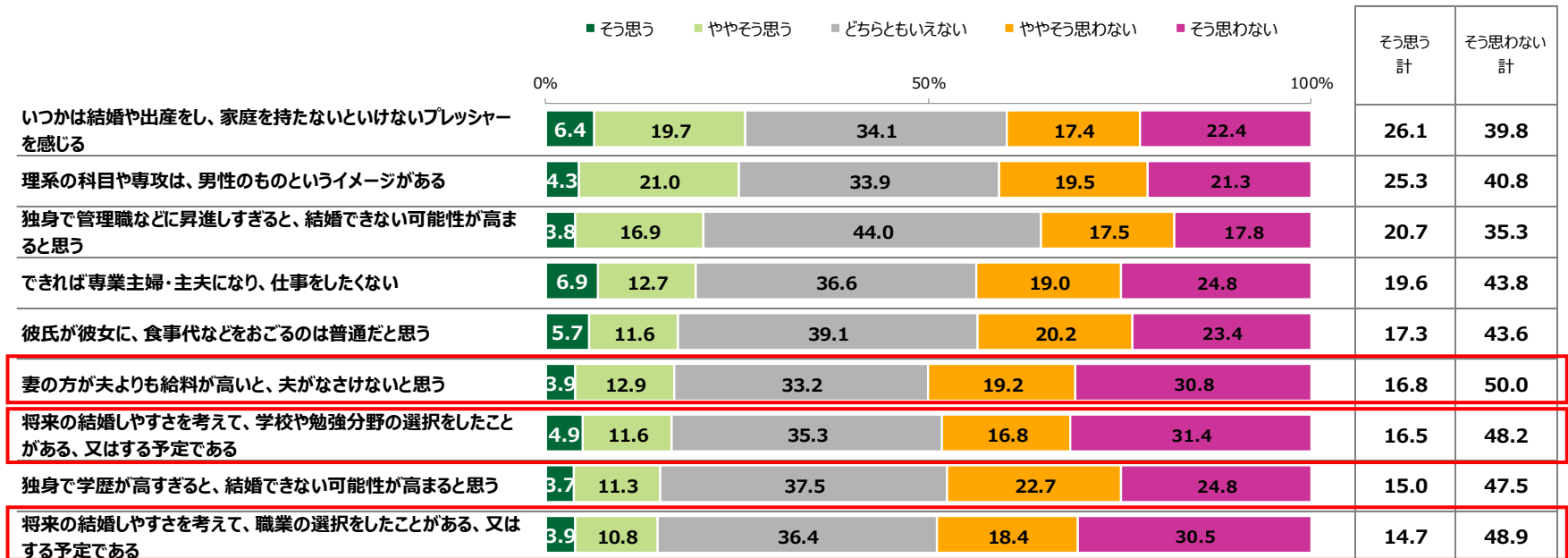
↓次ページに続く

※「そう思う計」(「そう思う」+「ややそう思う」)の比率の高い順に掲載

# ジェンダー意識・結婚子育て意識 2/2

「そう思わない 計」の割合が最も多いものは、「妻の方が夫よりも給料が高いと、夫がなさけないと思う」(50.0%)。次いで、「将来の結婚しやすさを考えて、職業の選択をしたことがある、又はする予定である」(48.9%)、「将来の結婚しやすさを考えて、学校や勉強分野の選択をしたことがある、又はする予定である」(48.2%)と続く。

Q 以下の各項目について、あなた自身がどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせずに、率直に回答してください。(各単一回答) (n=1000)

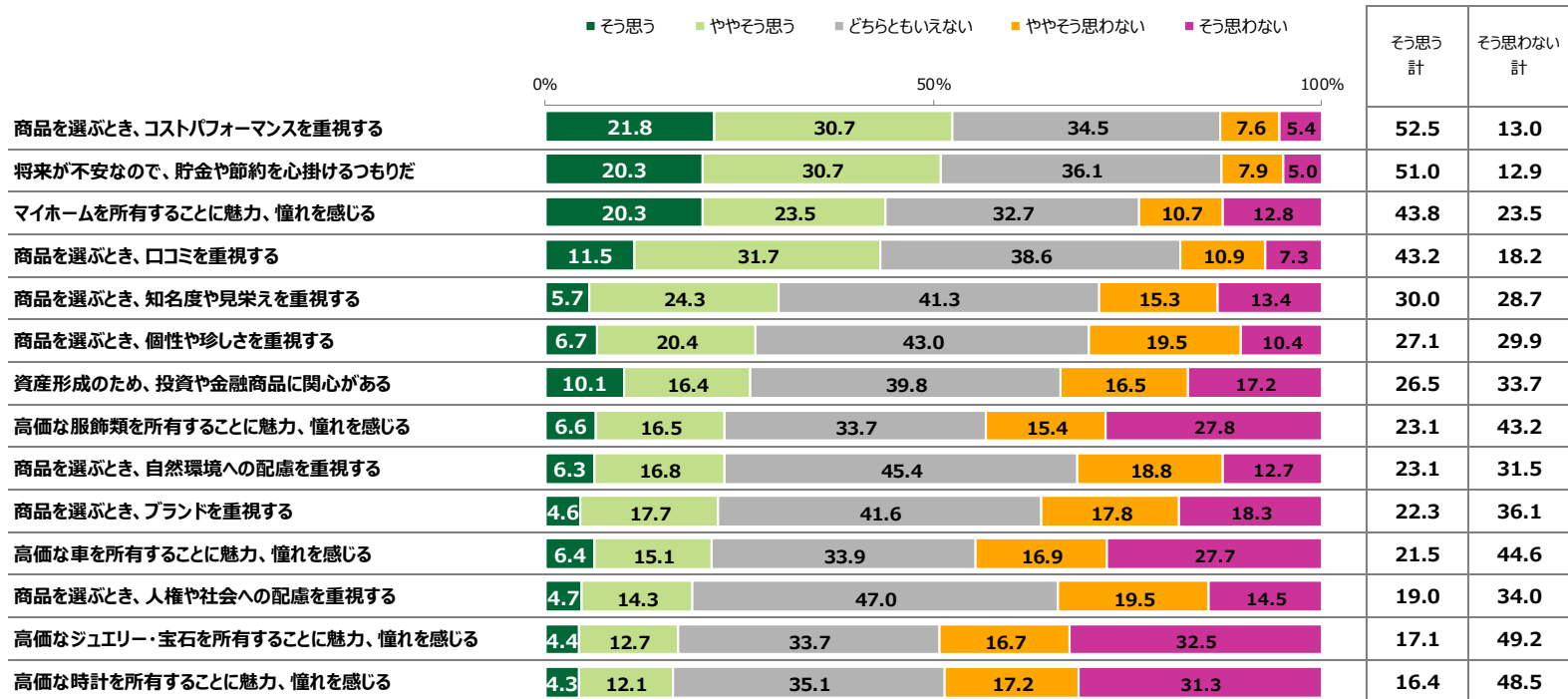


※「そう思う 計」(「そう思う」+「ややそう思う」)の比率の高い順に掲載

# 消費行動

消費意識について同意の割合が半数を超えるものは「商品を選ぶとき、コストパフォーマンスを重視する」（52.5%）、「将来が不安なので、貯金や節約を心掛けるつもりだ」（51.0%）。次いで、「マイホームを所有することに魅力、憧れを感じる」（43.8%）、「商品を選ぶとき、口コミを重視する」（43.2%）と続く。反対に、「高価な服飾類を所有することに魅力、憧れを感じる」「高価な車を所有することに魅力、憧れを感じる」「高価なジュエリー・宝石を所有することに魅力、憧れを感じる」「高価な時計を所有することに魅力、憧れを感じる」は「そう思わない計」が4割以上と多く、高価なものを所有することに魅力や憧れをあまり感じていない。

Q 以下の各項目について、あなた自身はどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせずに、率直に回答してください。（各単一回答）（n=1000）



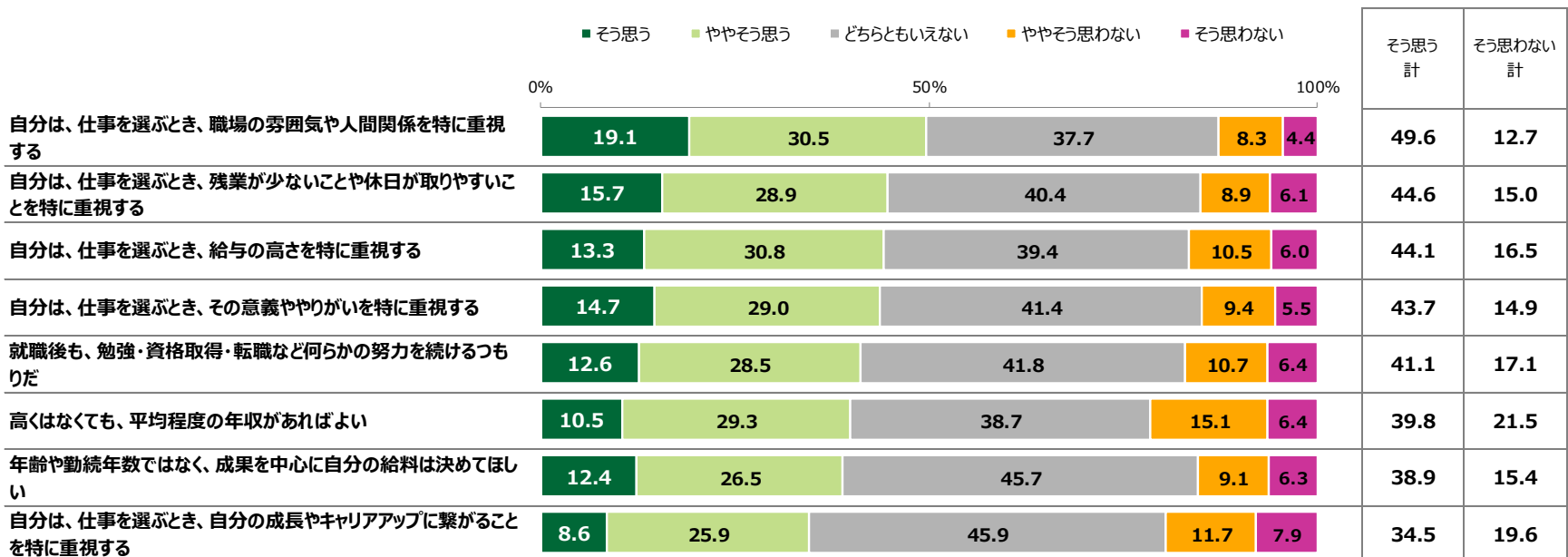
※「そう思う計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の比率の高い順に掲載



# 仕事観 1/2

仕事観について同意の割合が最も多いものは「自分は、仕事を選ぶとき、職場の雰囲気や人間関係を特に重視する」（49.6%）。次いで、「自分は、仕事を選ぶとき、残業が少ないことや休日を取りやすいことを特に重視する」（44.6%）、「自分は、仕事を選ぶとき、給与の高さを特に重視する」（44.1%）、「自分は、仕事を選ぶとき、その意義ややりがいを特に重視する」（43.7%）と続く。

Q 以下の各項目について、あなた自身がどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせずに、率直に回答してください。（各単一回答）（n=1000）



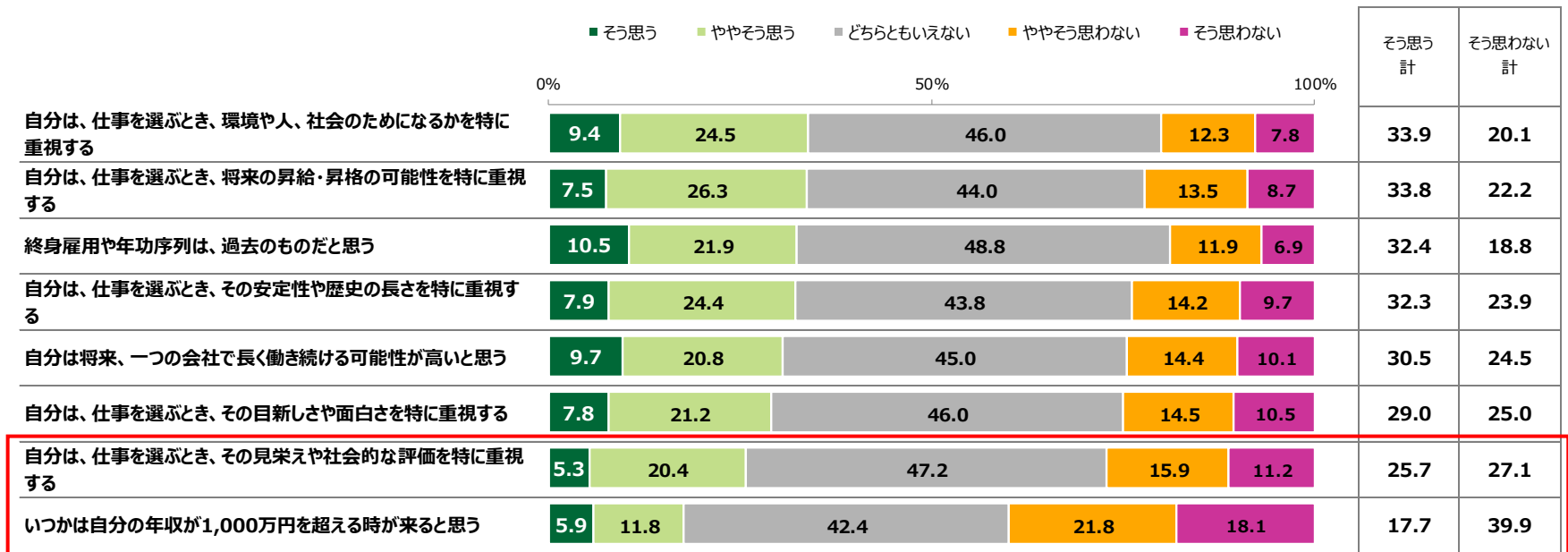
↓次ページに続く

※「そう思う計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の比率の高い順に掲載

# 仕事観 2/2

仕事観について、「そう思う 計」より「そう思わない 計」の割合が多いのは、「自分は、仕事を選ぶとき、その見栄えや社会的な評価を特に重視する」（そう思わない 計 27.1%）、「いつかは自分の年収が1,000万円を超える時が来ると思う」（そう思わない 計 39.9%）。特に「いつかは自分の年収が1,000万円を超える時が来ると思う」は「そう思わない 計」が約4割を占め、他の項目に比べて多い。

Q 以下の各項目について、あなた自身がどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせずに、率直に回答してください。（各単一回答）（n=1000）



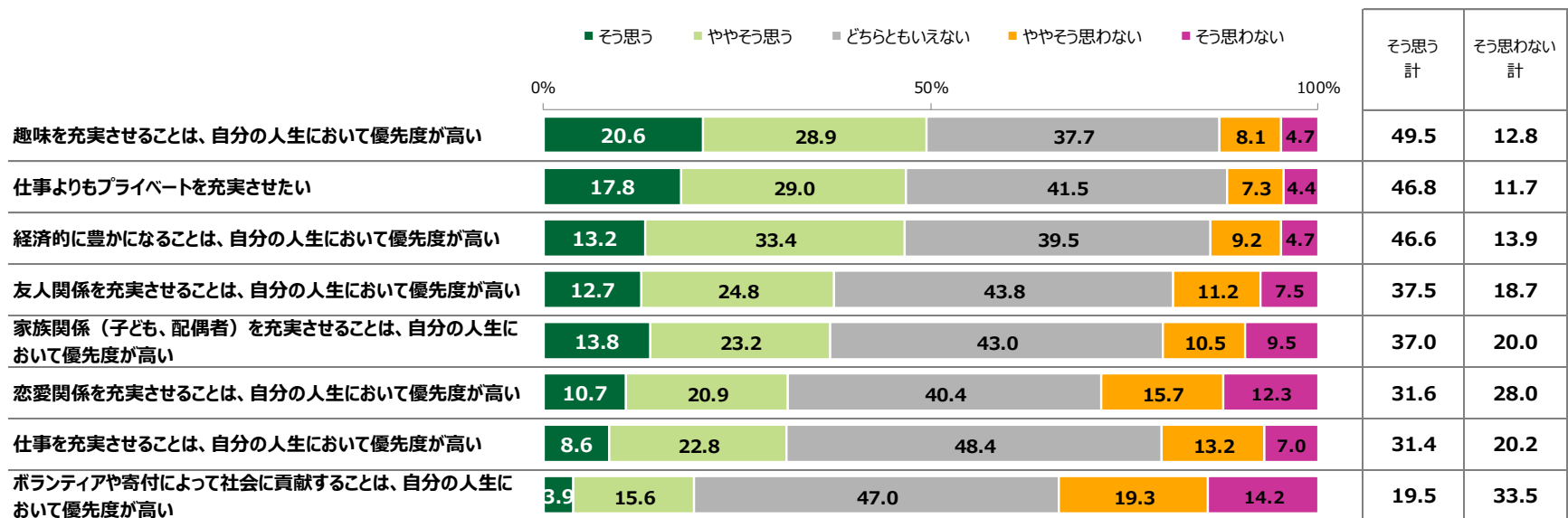
※「そう思う 計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の比率の高い順に掲載

# プライベート

プライベートについて同意の割合が最も多いものは「趣味を充実させることは、自分の人生において優先度が高い」（49.5%）。次いで、「仕事よりもプライベートを充実させたい」（46.8%）、「経済的に豊かになることは、自分の人生において優先度が高い」（46.6%）と続く。

また、「ボランティアや寄付によって社会に貢献することは、自分の人生において優先度が高い」は、「そう思う計」が19.5%、「そう思わない計」が33.5%となっており、「そう思わない計」の方が多。

Q 以下の各項目について、あなた自身がどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせずに、率直に回答してください。（各単一回答）（n=1000）



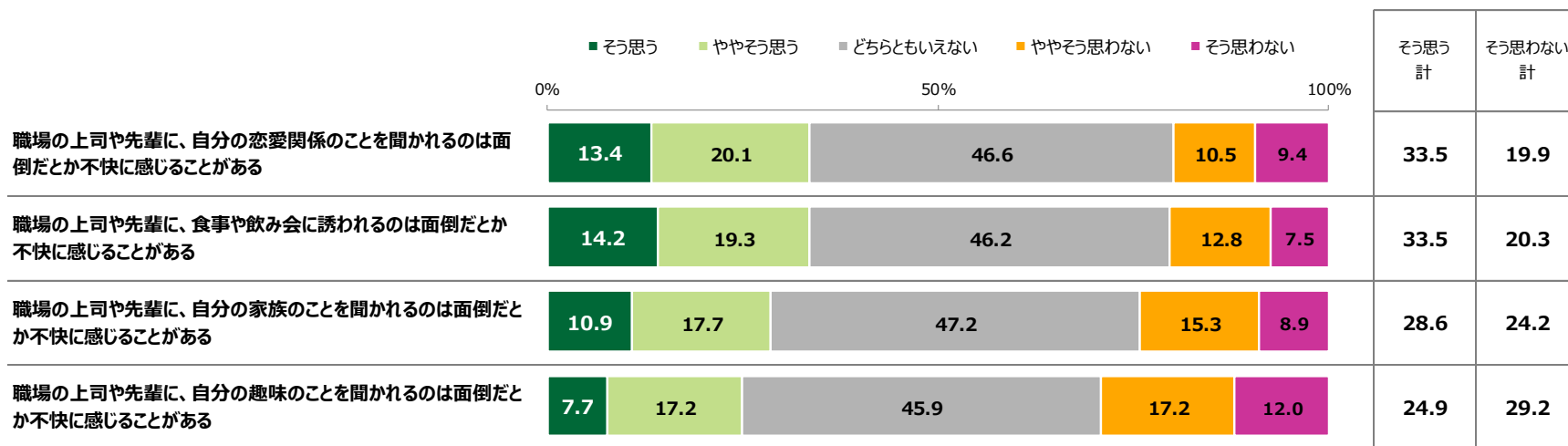
※「そう思う計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の比率の高い順に掲載

# コミュニケーション

コミュニケーションについて同意の割合が最も多いものは「職場の上司や先輩に、自分の恋愛関係のことを聞かれるのは面倒だとか不快に感じることもある」、「職場の上司や先輩に、食事や飲み会に誘われるのは面倒だとか不快に感じることもある」（いずれも33.5%）。

「職場の上司や先輩に、自分の趣味のことを聞かれるのは面倒だとか不快に感じることもある」は、「そう思わない計」が29.2%で「そう思う計」より多い。

Q 以下の各項目について、あなた自身がどう感じるかを回答してください。正しいことか、正しくないことかは気にせずに、率直に回答してください。（各単一回答）（n=1000）



※「そう思う計」（「そう思う」＋「ややそう思う」）の比率の高い順に掲載

# 親の学歴・職業

親の学歴については、「父親が大学を卒業している」(36.2%)、「あなたが生まれて以降、母親が専業主婦であった期間が5年以上ある」(34.9%)が多い。また、家族が失業、減給、倒産のいずれかを経験した割合は、15.6%。

Q 以下のうち、当てはまるものを全て選択してください。(n=1000)

